



VOLUME

11

2016年
11月1日発行

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 ぐんま

連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院

JCHO Japan Community Health care Organization

海外内視鏡指導

～あふれる外来・マンモス病院のなか、最新の診断・治療を指導する～【上海・南京編】 …… 06-09

理念・基本方針 ……	02
地域医療連携センター長ごあいさつ ……	03
新任部長紹介 ……	04
耳鼻咽喉科外来完全予約のお知らせ ……	04

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016ぐんま ……	05
市民健康医学講座報告 ……	05
外来診療担当医一覧表 ……	10



群馬中央病院の理念

4つの心

人権尊重の心 | 人間愛の心 | 奉仕の心 | 向上心

群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、
地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、
超高齢化社会における多様なニーズに応え、
安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、
地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

透明性が高く自立的な運営のもと、
常に医療・介護水準の向上に努める。

ごあいさつ

■ 副院長兼地域医療連携センター長

内藤 浩



月日のたつのははやいもので

今年も残すところ2か月余りとなってしまいました。月日のたつのは早いものだと実感しています。

今回の連携だよりでは、お二人の先生の手記を載せさせていただきました。

お一人は日本糖尿病学会研修指導医の資格を持つ、根岸真由美先生で、10月から糖尿病・内分泌内科部長として赴任されました。糖尿病はこれからますます患者さんが増える疾患であり、その対策は極めて重要です。本院としては、登録医の先生とともに地域で糖尿病患者さんを支えていくシステムを作って行こうと考えています。連携センターとして、根岸先生と一緒に糖尿病手帳や連携パスの普及をお手伝いしてまいります。

もうお一人は桐山真典先生で、9月で当院を辞められ11月から開業されます。桐山先生が当院に赴任されたのは2009年で、7年以上にわたってこの地域に早期がんに対する内視鏡治療の知識、技術の普及に貢献いただきました。あつという間の7年ですが、治療を受けた患者さんは1000人にのぼり、私たちががんの「超早期発見」の大切さを教えてくれました。開業後も、週に一度は当院で内視鏡治療にあたっていただけるとのことで、地域連携の輪が広がっていくものと期待しています。また、内視鏡治療は、岸遂忠医長らによってさらに発展させてまいります。これまで同様、よろしく願いいたします。

話はかわりますが、「栄養療法ネットワーク・前橋」という、栄養をキーワードにした地域連携の会を2008年から続けています。医師会、歯科医師会、薬剤師会、日赤や済生会などの地域医療支援病院、群馬県や前橋市など行政、在宅にかかわる医療・介護・福祉施設の方々、などなど、まさに多職種によるネットワークで、毎月1回当院で定例会・勉強会を開催しています。毎回多くのかたのご参加があり、今回めでたく第100回を迎えることができました。この会から発信した「往診胃ろう交換」などは、地域包括ケアシステムの構築のモデルとなるような事業で、高い評価をいただいています。今後も地域に貢献できるネットワークとして活動を継続してまいります。

連携センターであたふたしているうちにあつという間に一年が過ぎ、「2025年」まで10年を切りました。これから急ピッチで医療・福祉政策が変わっていきますが、「地域医療機能推進機構 群馬中央病院」として、しっかり地域医療を守ってまいります。これからもよろしく願い申し上げます。

新任部長紹介

糖尿病・内分泌内科 部長 根岸 真由美

10月より当院に新設されました、糖尿病・内分泌内科に勤務しております。これまで群馬県内の病院で糖尿病診療を専門に担当し、糖尿病専門医の育成などに務めてまいりました。

糖尿病は医療法の規定に基づき、医療連携が必要とされる5疾病、5事業のうちの筆頭であり、増加する糖尿病患者さんに対するかかりつけ医の先生方との連携が、ますます重要視されております。

生活習慣病に分類される糖尿病ですが、診断された最初の時点で教育入院などを行うと、治療の動機づけ、食事療法の基本や合併症についての知識などを習得して、その後かかりつけ医の先生方での通院治療も安定して行えることが大きなメリットになります。また合併症の起こる前の高血糖段階でのインスリン導入が早期であるほど、その後インスリン療法から離脱できる確率も上昇します。患者さんの生活や就労状況を踏まえ、負担軽減のため1週間を基本とする教育入院や外来でのインスリンその他注射薬指導などをすすめていく方針です。

糖尿病は慢性疾患であり、血糖コントロール保持や合併症予防のため、受診中断を防ぐことが重要です。自動車には定期点検の制度があり、半年毎にメンテナンスを行うことで安全に走行できる仕組みがあります。糖尿病診療においても、自宅や職場近隣のかかりつけ医の先生方に毎月の通院治療を行っていただきながら、病院において半年に1回程度、栄養指導や合併症チェックなどを繰り返すことで、より長期間良好なコントロールを維持することが証明されています。糖尿病連携手帳を用いて簡略化し、相互の負担を軽減した連携を目指しております。

当院では眼科・循環器科等各科と連携をとり、糖尿病療養指導士（CDEJ）をはじめとする看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士の各職種がチーム医療を行います。病院としての機能をかかりつけ医の先生方にご活用いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科外来完全予約制の開始

平成28年10月1日より、耳鼻咽喉科外来は完全予約制を開始しました。待ち時間の軽減を含め、ご紹介いただいた患者さんにもご負担をかけないように、地域医療連携室にてご予約をお受け致します。

電話及びFAXにて診療予約を迅速におとりするよう、心がけております。

TEL : 027-223-1373

FAX : 027-223-1374





リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 ぐんま

日時

2016.10/8(土) - 10/9(日)
12:00 START → 12:00 FINISH

会場

群馬県総合スポーツセンター
ふれあいグラウンド (前橋市関根町)

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざすチャリティ活動です。

今年で4年目を迎えるこの活動に賛同し、当院も参加4回目となりました。年々参加人数も増加し、今年もほぼ全職種・部署から140名を超すスタッフが交代で24時間リレーウォークに参加しました。

このイベントに参加することにより、がん患者さんやそのご家族を支援し、誰にとっても身近な病となった『がん』について、改めて理解し、認識を深めることができます。

今後も、がん検診の推進や、一般の方に向けた、がんに対する理解を深めるためのイベント、講演会などを企画・開催し、がんにまけない地域づくりをすすめていきたいと思っています。



市民健康医学講座を開催しました

日時

2016. 9/24(土)
14:00~16:00

会場

群馬県公社総合ビルホール
(前橋市大渡町)

司会 副院長兼地域医療連携センター長 内藤 浩

座長 消化器内科部長 湯浅 和久

演者 外科医長 佐野 彰彦

演題 『胃がんと向き合う』

～もしも胃がんと言われたら～

今年度第1回目の市民健康医学講座を開催しました。

当院では、地域市民の方の健康増進と、病気に対する理解を深めるため、健康医学講座を定期的で開催しています。当日は市内各地にてイベントが開催されており、付近道路の交通規制もある中でしたが、170名を超える大勢の方にご来場いただきました。当日記入していただいたアンケートのご意見を参考に、今後も市民の方に役立つ情報を発信して行きたいと思っています。



海外内視鏡指導

～あふれる外来・マンモス病院のなか、
最新の診断・治療を指導する～【上海・南京編】

皆さん、お久しぶりです。早期がん特別発見隊・隊長の桐山真典です。

前回の吉林省での内視鏡指導に続き、その後、首都・北京での内視鏡指導・講演の機会もいただきましたが、今回は中国でも比較的南に位置する都市・上海と南京での内視鏡指導についてお話いたします。

前回は厳寒の12月に行きましたが、今回は3月の連休をうまく使い、ギュウギュウの日程ではありましたが、たくさんの病院を訪問しました。

上海は東京から飛行機で3時間半程度です。そのため、到着後すぐに仕事です。



(写真1)

まずうかがったのが、上海交通大学医学院附属仁濟医院の消化器センターです（写真1）。



(写真2)

この病院は1844年開院と非常に歴史ある病院です。炎症性腸疾患、いわゆるIBDのセンターがあり（写真2）、そのセンター長であるZhi Hua Ran教授に案内していただきました。Ran教授とは一緒に講演もしましたが、米国留学経験もある先生で、大変英語も上手で、かつ研究もしっかりされています。非常に分かりやすい講演でした（写真3）。

病院内部は、いかがでしょう。あまり日本と変わらない気がします（写真4）。ただ洗浄室は数が多く、検査の多さを垣



(写真3)



(写真4)



(写真5)

間見ることができます（写真5）。

続いて、上海復旦大学華山病院にも伺います。こちらも大変歴史ある病院で、開院当時の建物が敷地内にあり、大都市に溶け込んでいます（写真6）。開院当時はドイツなど欧州の医師が医院を作り、医療を行い、そして教育・指導も行ってたとのことです。中に入るとその当時の建物や資料を文化財として保存してあります。年月は経っていますが、堅牢な建物であり信頼ある医療を提供する意思が感じられます。また高層ビルの無機質な病院とは異なり、中は落ち着いた優しい雰囲気、安心して医療を受けてほしいという思いが伝わってきます。また上海という大都市の中心にありながら、広い庭園を有し（写真7）、心身ともに癒される環境づくりもされてお



(写真6)



(写真7)

り、歴史を感じるとともに、医療の本質を感じずにはいられませんでした。

この上海復旦大学華山病院と先ほどの上海交通大学医学院附属仁済医院の先生と私で講演を行いました(写真8)。地域のほかの病院の先生方に消化管病変の診断と治療についてお話し、日本と中国の医療の違いや問題点について議論しました。



(写真8)

忙しいスケジュールのため、翌早朝に南京に移動します。いろいろ問題が報道されている中国式新幹線です(写真9)。安全面など不安がありました。乗ってみると普通です。日本の新幹線に似ており、時間もほぼ正確でした。



(写真9)

南京では南京鼓楼病院で内視鏡指導を行いました(写真10)。この病院は中国でおそらく規模・治療数・患者数などでトップ10に入るレベルの病院です。エントランスも大きく、どこかのターミナル駅の様です(写真11)。患者さんも医療スタッフもたくさんいましたが、院内の移動だけで大変です。具合の悪い患者さんには広すぎて、正直つらいと思います。

病院の上階の良い場所に内視鏡センターがあり当然洗浄



(写真10)



(写真11)



(写真12)



(写真13)

室も重装備、内視鏡医療が重要視されていることを実感します(写真12,13)。その受付すぐ前には、なにやら空港の自動チェックイン機のようなものがあります(写真14)。これ、なんだと思いますか?実はこれは、病理検査の自動結果受け取り機なのです。内視鏡検査などで生検された組織の病理診断については、医師が全部患者さんに説明するのではなく、この受け取り機で結果を患者さん自身で確認。内容について詳しく聞きたい場合、追加の治療が必要な場合には、改めて診察を予約し、そこで医師から説明を受けるの



(写真14)



(写真 15)

です。検査数・患者数が多い中国ならではのですね。驚きです。

この病院では、講演とともに内視鏡診断・治療のライブ指導です。ここは検査室ですが、隣に大きな講義室があり、そこに非常にたくさんの近隣の医師が集まっています（写真 15）。まずは私が、上部内視鏡（胃カメラ）の一通りの検査を指導します（写真 16,17,18）。どのように検査を行



(写真 16)

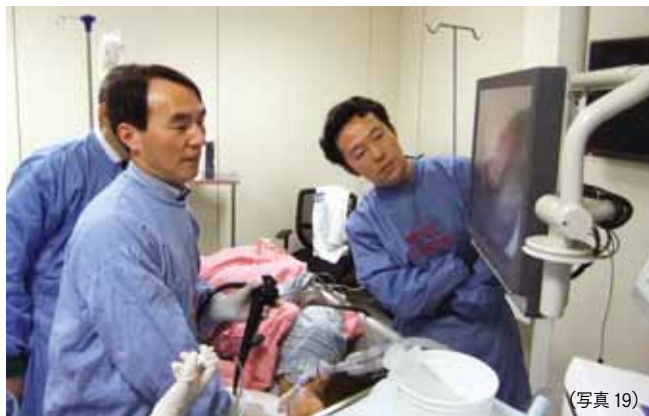


(写真 17)



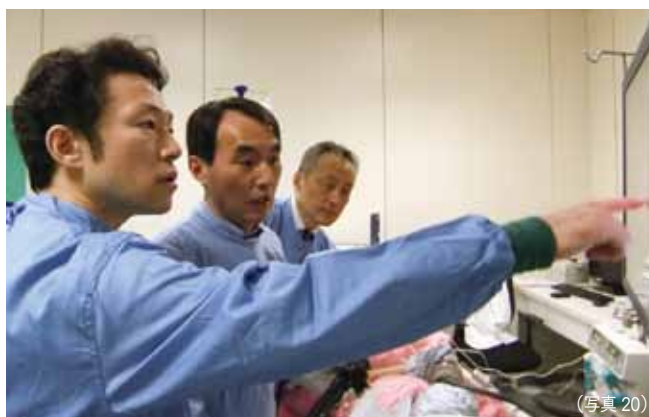
(写真 18)

い、どこを見落とさないようにするか、どこをみて胃癌を見つけ、どう診断するか。この患者さんは胃癌が疑われていますが、病理診断では悪性の細胞は認めていません。ただし私が内視鏡を行って観察する限り、胃角部に早期癌を認めました。大きさ 30mm 程度ですが、粘膜内癌と考えられ、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)の良い適応です。このことを講義室に TV モニターを通じ説明。実際の治療は主治医の Ling 先生が担当です（写真 19）。この病院は大変患者数も多く、内視鏡治療件数もずば抜けて多い施設です。そのためこの Ling 先生も経験治療件数はかなり多いとのことでしたが、やはりまだまだ早期癌の診断は難しいようです。病理医も少なく、内視鏡診断と病理組織診断評価の整合性がとれないことも一因でしょう。また患者数・治療件数が多



(写真 19)

いため、治療時間も制限があり、非常に大胆?に治療していきます。先ほどの写真のように最初はモニターをみてやり方を少し離れてみていましたが、やはり良い内視鏡治療をしてもらいたいという気持ちが前に出てきてしまいます。結局術者の Ling 先生の隣にまで来て、熱血指導となってしまいました（写真 20）。帰国後連絡がありましたが、この患者さんは合併症なく無事退院され、また切除後の病理診断も私の診断通り、分化型の腺癌で粘膜内癌であったとのことでした。追加手術なく経過フォロー中とのことでした。



(写真 20)

穿孔や出血などいろいろ合併症が多いらしく、そうならないようにどうすればよいか、また範囲診断もあいまいなまま一気に切除するため、がんが取り残しとなることもあるなど、問題点も多くあるようです。そのようなことをどのように解決していく必要があるか、内視鏡の実技指導のあと、大勢の中国の内視鏡医・消化器科医に向けて、早期胃がん・早期大腸がんの内視鏡検査・診断・治療について講演を行いました（写真 21,22）。どの講演でもそうですが、大変みなさん熱心です。講演後も質問がたくさんあります。また講演・指導について大歓迎であり、大変感謝していただけます。今回病院長より感謝状をいただきました（写真 23）。



(写真 21)



(写真 22)



(写真 23)

以前に訪問した病院の医師より、ぜひ日本で治療をうけたいと患者さんを紹介いただくようにもなりました。このお二人は夫婦で来日され、自費ではありますが検査・治療を群馬中央病院で受けられ、大変満足され記念に一緒に写真を撮りたいとお話されその後帰国されました(写真 24)。また中国から内視鏡医師が当院に短期留学に来られ、内視鏡治療を勉強に来られるような交流も始まっています(写真 25)。



(写真 24)



(写真 25)

海外での内視鏡指導はいろいろ大変なこともありますが、そこにいるのは病気を抱える患者さんとそれに立ち向かう多くの医師です。時間の制約・言葉の問題・それぞれの医療事情など大変な部分もありますが、このような活動・交流により世界中の一人でも多くの患者さんにより医療が提供できるようになれば、と思って取り組んでいます。

このような活動を支えてくださった多くの皆様に大変感謝いたしております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。また9月末を以て群馬中央病院を退職し、11月より高崎市にてクリニック院長として診療を行います。これからも切らずに治せる医療で健康に暮らせる社会がますます広がるように、国内外を問わずよりよい内視鏡医療の向上のための活動にも取り組んでいきたいと思っております。

この上海のあとも海南省での内視鏡指導にも行きました。ほかにもヨーロッパ・東南アジア・中南米等々でも内視鏡治療や指導を行ったときにいろいろ面白かったことがあります。また機会があれば寄稿したいと思います。最後まで読んでいただきありがとうございます。

(文責 桐山 真典)

JCHO 群馬中央病院 外来診療担当医一覧表

受付時間：午前8時～午前11時(耳鼻咽喉科のみ、午前10時30分までの受付)、休診：土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29～1/3)

平成28年10月1日現在

診療科・曜日		月	火	水	木	金	
内科	総合内科(初診)	午前	齋藤	奥	今井	北原	佐藤
	一般(予約)	午前	北原(陽) 羽鳥	羽鳥 大山	北原(陽) 田嶋 長谷川	今井 田嶋 須賀	大山 奥 須賀
	糖尿病	午前	根岸				
	内分泌内科(予約)	午後	田嶋	土岐	根岸 今井	根岸	田嶋
	循環器(予約)	午後	今井	北原(陽) 須賀		大山 奥	北原(陽) 羽鳥
和漢診療科	呼吸器(予約)	午後	北原(信)	蜂須	山口	解良	解良
		午前	小暮 山本	小暮 原田	小暮	小暮 山本	小暮
神経内科(予約)		午後	小暮		小暮(リウマチ)	小暮	
		午前	大沢				大沢
消化器内科		午後	金子	大沢		関根	
	肝臓	午前(予約)	湯浅(第2・4週) 堀内(第1・3・5週)				
	ESD・内視鏡	午前		岸			岸
一般	午前	湯浅(第1・3・5週) 堀内(第2・4週)	田原	堀内(予約) 林	山田(大腸予約) 林(予約)	湯浅(予約) 大館	
	午後(予約)	大館		田原			
小児科	一般	午前	田代 河野	須永	田代 水野	田代 須永	河野 須永
		午後(予約)		河野(専門)	河野(専門)	内田(専門)	
	神経発達(予約)	午前	須永		須永 村松(第1・3・5週)	澤浦(第2・4週)	須永
		午後	須永	須永	須永		
	アレルギー(予約)	午前					水野
		午後(予約)	水野			水野	水野
	循環器(予約)	午後			田代	田代 篠原(第3週)	
腎臓(予約)	午後	武井		高木		武井	
乳児健診(予約)	午後		和田 品川				
予防注射(予約)	午後			内田 品川			
外科	一般・消化器	午前	内藤 深澤 田部	調(肝・胆・膵)(紹介) 谷 佐野	斎藤 田部 平方	内藤 深澤 平方 福地 茂木(呼吸器) 長嶋(緩和ケア外科)	谷 斎藤 佐野 内藤(大腸)
		午後(予約)					
	ESD・内視鏡	午前		桐山			
乳腺・甲状腺(紹介)	午前	矢島					
	午後	藤井					
整形外科	午前	寺内 堤 中川 中島	寺内 堤 畑山 有澤	中川 畑山 有澤	堤 中川 中島 群大	寺内 畑山 中島 有澤	
産婦人科	一般	午前	伊藤 金井	伊藤(8:30~10:00) 勝俣	太田 井上	伊藤(不妊不育) 太田	伊藤 安部
		午後(予約)	太田(検査)	金井 手術 安部	勝俣(産後) 安部(一般) 伊藤	伊藤(術前) 篠崎(専門) 検査 勝俣	太田(検査)
	妊婦健診	午前	勝俣				諏訪
	午後(予約)	井上				井上	
眼科	午前	前嶋	前嶋 花田	前嶋 花田	前嶋	前嶋	
耳鼻咽喉科(予約)	午前	内山 群大	内山	内山	内山(紹介)	内山	
平成28年10月より完全予約	午後	検査	内山(嚙下) 竹越	検査 塚田(第3週)		内山(嚙下)	
皮膚科	午前	群大(第1・3週)	田村			群大	
	午後(予約)						
泌尿器科	午前			羽鳥			
歯科(予約)	午前・午後	平林	平林	平林	平林	平林	

【ご案内】

①医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くようお願いいたします。

*詳細についてはホームページをご確認ください。

②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。

- ・予約制外来 原則、午後は和漢診療科以外の診療科は予約制となっております。終日予約(神経内科、耳鼻咽喉科、歯科、禁煙外来)
- ・紹介型外来 乳腺・甲状腺(月曜日の午前・午後)、耳鼻咽喉科(木曜日の午前)、脳神経外科(火曜日の午後)、緩和ケア(精神科)(水曜・木曜日の午後)、皮膚科(金曜日の午後)

③その他 整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。
総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。
ESD・内視鏡外来は消化器内科(火曜と金曜日・午前)、外科(火曜日・午前)に行っております。

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間
8:30~18:00
土・日・祝日は除く

TEL **027-223-1373** [直通]
FAX **027-223-1374** [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構

群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415

